



# 40周年記念事業報告

## ～式典・祝賀会・記念講演会～

昨年十月十六日、本校第二体育館において八戸工業大学第二高等学校四十周年記念式典とトークショーが催されました。

記念式典では、校長先生の式辞、柳谷利通理事長と四十周年記念式典実行委員長熊谷雄一氏による挨拶のほか、歴代校長及び永年勤続職員、本校学校医、父母と教師の会長を務められた方々に感謝状が贈呈されました。式典の後、卒業生によるトークショーが行われました。「ようこそ先輩」という演題のもと、本校10回生で八戸せんべい汁研究所の木村聡さんと、34回生で青森テレビアナウンサーの小島祐希さんに日頃のお仕事の様子や中学・高校時代を



語っていただきました。同日には、記念祝賀会が八戸パークホテルにて実施されました。祝賀会では、本校11回卒業生でチンドン芸能社の永田美香さんによる余興が行われ、お祝いムードを高めていただきました。



動の様子やエピソード、世界遺産ナスカの地上絵の研究と保護活動について等が話されました。時折生徒にステージ上から直接話しかけるなど、その当意即妙な語り口に生徒・保護者は魅了されていました。

この他、昨年十二月十一日～十三日に、四十周年記念美術コース作品展が八戸ポータルミュージアムはつちにて開催されました。千人以上の来場者がありました。

また、記念事業としてグラウンドの土手に植樹を行いました。ヤマボウシとコニファーが植えられ、その近くには、腰をかけるベンチが設置されるなど、学校周辺の環境がリフレッシュしました。

「可能性の扉を開く」と題した講演では、ご自身の思い出、アナウンサー・エッセイストとしての活

「チャレンジの場」  
小林 純也  
私は、二高に入学してから多くのことにチャレンジした。それは、部活動、様々なボランティア活動、海外研修への参加などである。

部活動では、仲間と一つの目標に向かって努力し、ボランティア活動では、人のために尽くすことの素晴らしさを学んだ。そして3回の海外研修では、異文化理解の難しさと大切さを学んだ。

私は、これら3つのことに積極的に参加し、生きていく上で大切な「人間力」を身につけることが

できたと思う。これほど多くのチャレンジの場を与えてくれる学校はなかなかないだろう。さらに二高には心強い先生方がいる。チャレンジして失敗することも多かった私は、チャレンジすること自体嫌になり、逃げ出したいくなる事もあった。そんな時には、先生方が優しく背中を押して下さった。先生の存在はありがたく、そしてとても偉大だった。

最後に、チャレンジする場と機会を与えてくれた二高、そして先生、友達、両親に感謝を込めて「本当ありがとうございます。」

### 卒業生からの声

#### 「根」

川崎 瑞穂

「白目は白くない。パスが狂っている。皮膚ではなく骨を見る。見えないものを見て描く。」入学当初には全く理解できなかつた言葉が、最近ようやく分かってきたような気がする。白は一番明るい色だ。頭蓋骨の窪みに嵌る眼球が、出っ張った鼻よりも又は頬骨よりも明るい色になる事はない。白目は「白く」ないのだ。

よく観察すればそれぞれが分かる。しかし先入観にとらわれていると気付けない。描く事だけに熱中してしまうと全体

のバランスがおかしくなる。時折、一、二、三歩下がって遠くから冷静に全体を見て自分の絵と対象を見比べる。何事にも、一番大切なのは「よく見てよく考える」事なのだ。

私は三年間美術を勉強して、技術や基礎力だけではなく、精神的にも成長できたと思う。二高で養ってきた力は、社会に出て大人として生きていくために大きく役立つ力だ。二高に入学していただければ養えないものだった。二高で学んだ事を決して忘れず、自分の道を切り開いていきたい。

☆☆会員からのメール☆☆

◎西野 彰一 (4回生)
現在、神奈川県に単身赴任中。八月に沖縄へ戻ります。夜間大学でも米国人と一緒に頑張っております。

◎木村 直也 (39回生)
働いてから一ヶ月がたち、給料をもらうようになりまし。

◎梅田 連 (40回生)
陸上自衛隊弘前駐屯地で頑張っております。

◎鳥谷 (西本) 富貴子 (6回生)
埼玉に移り住んで十七年、子ども三人います。現在は病院で経理をしています。

◎小泉 早紀 (39回生)
小学校教諭、幼稚園教諭、保育士の資格を取るための実習がスタートしました。レポートや指導案など、二年生になってからは専門的なことが増え、とても充実した日々です。

◎笹川 寛登 (40回生)
資格取得に向け、頑張っております。

◎吉米地 (漆畑) 真由美 (19回生)
一昨年、義理の妹が冬季オリンピックのカーリング競技に出場しました。

◎西村 美咲 (39回生)
介護職も一年を過ぎ、だいぶ慣れてきました。が、やはり大変な部分も多く、疲れて毎日ぐったりしています(笑)。

◎佐藤 晴香 (40回生)
イーゼルを手に入れた家の中で製作に励んでおります。高校時代に自由にアトリエを使った幸せを、今になって噛みしめております。

◎深畑 忍 (19回生)
現職場が十二年目を迎え、後進指導の毎日です。介護老人保健施設リハビリパーク

◎飯田 諒人 (40回生)
美術分野の専門的な知識を学ぶと共に、自分の特性を活かしていけるように大学生生活を送っています。

◎山口 芳南 (40回生)
大学へ入って初めて気付くことや、高校との違いにびっくりしています。が、すごく楽しいです。

◎葛西 (滝田) 志津江 (21回生)
現在、育児休業中(第二子)です。

◎大久保浩輔 (40回生)
一人暮らしも少しずつ慣れてきました。元気に頑張っています。大学には楽しく通っています。

◎中村 望 (40回生)
大学にも慣れてきて、一人暮らしも楽しんでいきます。

◎市川 夏実 (28回生)
カイロプラクティックとエステティックの融合の仕事をしています。カイロハウスDrivy

◎大久保浩輔 (40回生)
一人暮らしも少しずつ慣れてきました。元気に頑張っています。大学には楽しく通っています。

◎山口 芳南 (40回生)
大学へ入って初めて気付くことや、高校との違いにびっくりしています。が、すごく楽しいです。

◎市沢 潤人 (40回生)
テニス、頑張っています(笑)。

東北学院大学

◎梅田 連 (40回生)

◎笹川 寛登 (40回生)

◎佐藤 晴香 (40回生)

◎西村 美咲 (39回生)

◎吉米地 (漆畑) 真由美 (19回生)

◎鳥谷 (西本) 富貴子 (6回生)

◎深畑 忍 (19回生)

◎飯田 諒人 (40回生)

◎葛西 (滝田) 志津江 (21回生)

◎市川 夏実 (28回生)

◎大久保浩輔 (40回生)

◎山口 芳南 (40回生)

◎中村 望 (40回生)

◎飯田 諒人 (40回生)

◎吉米地 (漆畑) 真由美 (19回生)

◎鳥谷 (西本) 富貴子 (6回生)

◎深畑 忍 (19回生)

◎飯田 諒人 (40回生)

◎葛西 (滝田) 志津江 (21回生)

◎市川 夏実 (28回生)

第39期 定例幹事総会にて 役員改選を実施

平成二十七年三月二十一日午後六時より八戸パークホテルにおいて第三十九期定例幹事総会が開催され、審議の結果すべて全会一致で承認されました。

- 専務理事 田中 洋 (19回生)
常任理事 小出 敏夫 (3回生)
杉本 雅昭 (5回生)
☆杉本 佳子 (5回生)
住吉砂津貴 (6回生)
稲葉 嘉浩 (6回生)
福士 修 (7回生)
下山 順之 (12回生)
佐藤 勝也 (12回生)
村井 京太 (15回生)
田村 史之 (15回生)
千葉 三代 (19回生)
梶浦 昌之 (22回生)
福井 智久 (23回生)
谷崎日出紀 (24回生)
(5) 監事 岩淵 義昭 (4回生)
柄本 俊一 (14回生)
(6) 事務局長 住吉 治彦 (0回生)
(7) 事務次長 越後喜代志 (27回生)

- 二組 樫本 侑暉
三組 佐々木 萌佳
四組 中鶴 典子
五組 北城 和也
六組 磯嶋 咲良
七組 明戸 佑太郎
八組 浪岡 日奈子
九組 関下 ひなの
一〇組 明戸 佑太郎
一一組 磯嶋 咲良
一二組 北城 和也
一三組 中鶴 典子
一四組 佐々木 萌佳
一五組 樫本 侑暉
一六組 渡辺 真菜実
一七組 山島 由理佳
一八組 久保 祐哉
一九組 佐川 瑠依
二〇組 市川 誉志紀
二一組 花野 裕樹
二二組 上野 夏菜子
二三組 深川 芽紗
二四組 種下 祐樹
二五組 中山 政義
二六組 中田 帆香
二七組 吉田 ひかる
二八組 細田 帆香
二九組 尾崎 有輝
三〇組 的場 愛輝
三一組 野崎 愛輝
三二組 速水 薫
三三組 原 彩香
三四組 古戸 杏実
三五組 樫本 侑暉
三六組 佐々木 萌佳
三七組 中鶴 典子
三八組 北城 和也
三九組 磯嶋 咲良
四〇組 明戸 佑太郎
四一組 浪岡 日奈子
四二組 関下 ひなの
四三組 明戸 佑太郎
四四組 磯嶋 咲良
四五組 北城 和也
四六組 中鶴 典子
四七組 佐々木 萌佳
四八組 樫本 侑暉

平成28年度 41回生幹事決定
主な行事予定
平成28年度 41回生幹事決定
主な行事予定
平成28年度 41回生幹事決定
主な行事予定

特集

# 活躍する先輩たち



## 「チンドン芸能社」

永田 美香さん(11回生)



### 【永田美香さんプロフィール】

25才の時に根岸(台東区)のチンドン屋、下谷二代目瀧廻家五郎八(したやにだ いめたきのやごころはち)親方に弟子入り。五郎八親方亡き後、大田区チンドンみどりや村杉進親方に師事。39才の時に永田久さん(墨田区 小鶴家で修行)と結婚。2人で「チンドン芸能社」を創立。東京の伝統的なチンドン屋のスタイルを現代に…をモットーに年間200本以上の現場をこなす。現在のメンバーは久さん・美香さん他4名。平成27年全日本チンドンコンクール(富山)最優秀賞受賞。

昨年10月に行われた、本校創立40周年記念祝賀会では、「チンドン芸能社」の皆さんにお越しいただき、会場を大いに盛り上げていただきました。そこで今回は、本校11回生で「チンドン芸能社」の創設者である永田美香さんにお話を伺いました。

チンドン屋の魅力は？  
また大変なことは？  
チンドン屋は見た目こそ奇抜ですが、八百屋さんが野菜を売るように宣伝力を売る商売です。頼んでくださったお店やイベントの主催者様・お客様が喜んでくださることが一番の「やりがい」です。お仕事をしていると、沢山の初対面のお客様が笑顔で心を開いて話しかけてくださいます。それがチンドン屋という宣伝媒体の魅力なのですが、その特性を実際の宣伝に繋げられるかは腕しだい。場所や宣伝内容、季節に



思えず)、就職の為行った東京でチンドン屋という職業があることを知りました。「パフォーマンスをしなからお金がもらえる！なんて素敵な商売だ！」と思いつき、当時勤めていた会社を辞めた弟子入りしました。その後、チンドン屋という仕事の大

変さ、奥深さを知ることになりました。何度か辞めてしまいましたが、今までも続けられていることは本当にやりたい事だと思っています。

「チンドン芸能社」  
〒110-0003  
東京都台東区根岸三丁目1-18 鶯谷上原ハイツ603  
TEL 03-3873-0337  
ホームページアドレス  
<http://www.chindon-geinou.com>

よつてもやり方が違うので苦労というか思案するところ。また、最近、大道芸としてのステージパフォーマンスを希望されるが増えています。元々は街頭を練り歩き、稽古などしない(仕事の仕方や太鼓の叩き方は現場で覚えると言われ、職業のため、お客様に満足していた、たけるステージ作りに苦労しています。

チンドン屋になるうと思っただけは？  
工大二高在学中に演劇部に所属していました。この時に演劇の楽しさに目覚め、卒業してからも八戸市内の演劇団体で活動していましたが、プロの役者になれるわけもなく(また成ろうとも



今春卒業する生徒にメッセージをお願いします。  
私も工大二高在学中はまさかチンドン屋を生業にするとは思いませんでした。社会に出ると沢山の出会いが待っています。信念を曲げずに諦めなければ、必ず誰かが見ていて助けてくれます。人に学ぶことを恐れず、沢山の

最後に、同窓会の皆さんへ一言お願いします。  
40周年記念祝賀会では、アトラクションに呼んでいただきありがとうございました！同窓会の先輩方にはいつも応援していただき、感謝しております。先生方、先輩方の前ではかなり緊張していましたが(笑)、今でも思い出すと目頭が熱くなるほど、感激いたしました。これからもチンドン屋という職業を失くさないように頑張つてまいります。お店の開店・リニューアル

# 二高の一年

〔三月〕 昨年度三月二日に卒業した四〇回生の進路報告をいたします。北見工業大学、北海道教育大学釧路校・函館校、釧路公立大学、弘前大学四名、県立保健大学五名、青森公立大学三名、岩手大学三名、岩手県立大学、宮城大学、秋田公立美術大学二名、山形大学二名、新潟県立大学、以上国公立大学二六名合格、八戸工業大学二〇名、札幌保健医療大学、弘前医療福祉大学、仙台白百合女子大学、東北学院大学二名、東北福祉大学、日本赤十字秋田看護大学、東北芸術工科大学七名、女子栄養大学、共立女子大学、女子美術大学四名、成城大学、専修大学三名、拓殖大学、東京造形大学四名、東京理科大学、日本大学三名、法政大学、武蔵野美術大学、立正大学など私立大学九七名合格、短大・専門学校が四名合格、就職においては、青森県警察官、自衛官など公務員五名が合格し、民間企業二二名合格という結果でした。

〔四月〕 四日に一八九人の新入生を迎え、第一回入学式が挙行されました。一七日〜十九日の三日間に渡り、全学年Sクラスが小川原湖青年

の家にて合同合宿を行い、大学受験に向けた今後の学習のあり方を学びました。

〔五月〕 二二日〜六月八日にかけて、本校卒業生が母校にて教育実習を行いました。二五日〜二六日、美術コース校外スケッチ実習が行われました。今年は八戸市小中野・湊漁港周辺を描きました。両日とも好天に恵まれ、明るい日差しが漁港周辺を鮮やかに見せていました。港に停泊する漁船、趣深い建造物や工場、裏路地など絵になるポイントを見付け、生徒達は集中して制作に励んでいました。

〔六月〕 六日〜九日にかけて高校総体が行われました。開会式では、平成二七年度の青森県高総体ポスターコンクールで最優秀賞を受賞した美術コース二年生の佐々木由依さんが表彰されました。最優秀賞は二一回目、六年連続です。一九日には徒歩遠足が行われ、三年生は八戸公園へ、二年生は種差海岸まで行きま

した。二四日〜七月五日、第一五回高校生国際美術展が行われ、美術コース三年生の小崎絢加さんと富田真帆さんの作品が奨励賞に選ばれました。

〔七月〕 八日、八戸大の野田公俊氏による講演会が開かれました。一九日〜二三日にかけて二高祭が行われ、二日間の一般公開を含み、大盛況のうちに無事終了しました。二五日〜二六日の二日間、希望者一四名が集い読書合宿を行いました。読書に親しみ、本に関連したグループ活動を通してコミュニケーション能力、表現力を養うことができました。三〇日から八月三日にかけて情報ビジネスコースの生徒がスクールキャラバン Artuno (アルドウィーン) 講座を受講しました。株式会社社ジアーイテックチーフマネージャーの浜道健さんを講師に迎え、生徒達はマイコンボードを使ったプログラムを組み、LEDを規則正しく光らせたりスピーカーを使って音楽を奏でたりと、様々な製作に打ち込みました。

〔八月〕 八日〜九日、鮫・蕪島高校生ボランティアガイドを本校生徒が行いました。今年で四年目となります。自作のパンフレットを配ったり、カメラで撮影したりと笑顔で対応できました。九日、美術コース生徒製作によるミニフレーム絵画を、陸前高田市仮設住宅の方々に寄贈しました。これは毎年夏に実施している取り組みで、今年で四年目になります。一七

日〜一九日には、二年生合同の合宿勉強会がそれぞれ行われました。一九日〜九月三日には、二年生の希望者五名が八戸工業大学の姉妹校である瀋陽工業大学(中国遼寧省)にて、中国語学研修を受けました。

〔九月〕 二二日、青森市のワ・ラッセにおいて津軽地区では二回目となる中学生美術セミナーを実施し、昨年以上に多くの中学生が集まっていた

〔十月〕 二日〜四日、ポータルミュージアムはつちを会場に、美術コース秀作展が開かれました。また、三日には中学生美術セミナーが実施されました。三日、スパーカレッジクラス一〜

三名が入賞し、授賞式が行われました。受賞作品は県信用組合本店に展示される他、カレンダーなどに使用される予定です。

九日〜二六日には第三

三年生による階上岳登山(強歩)が実施されました。四日、「太宰治の津軽を訪ねて」と題した文学探訪を実施しました。生徒・保護者、教職員合せて三五名が参加し、太宰治の生家「斜陽館」と立

六回高総文祭が行われました。囲碁部門では、女子Aクラスでカレッジコース二年生の磯崎綾華さんが優勝、男子Bクラスで同じくカレッジコース二年生の中条拓海君が優勝し、東北大会への出場権を獲得しました。磯崎さんは2年連続の東北大会出場です。美術部門では、美術コース二年生の坂京美さんと山端綾乃さんの作品が優良賞に選ばれました。同日の弁論部門では美術コース一年生の木村琴音さんの弁論「演題『傍観者の覚悟』」が最優秀賞を受賞しました。木村さんは今年開催の全国高総文広島大会の青森県代表に選ばれ、全国大会への切符を手に入

ました。また演劇部門では、優秀賞を獲得しました。一〇日、青森県選挙管理委員会の主催で、選挙の出前講座が行われました。選挙権年齢が一八歳以上に変更されることに伴って、一部の生徒達が高校在学中に選挙権を手に入れることになるため、選挙の意義や投票に参加することの必要性、重要性などを学び、実際の記載台や投票箱を利用しての模擬投票も行いました。一六日には、本校創立四〇周年記念式典および祝賀会が開催されました。また二二日には、記念事業の一つとして、司会者・エッセイストとし

て活躍中の楠田枝里子氏を講師としてお迎えし、講演会が開催されました。「可能性の扉を開く」と題した講演では、「ご自身の恩師との出会いとその思い出 アナウンサー・エッセイストとしての活動の様子やエピソード、世界遺産ナスカの地上絵の研究と保護活動についてなどが話されました。

〔十一月〕 六日、JICE主催中国高校生訪日団学校交流のため、中国の高校生二八名と教員二名が来校しました。午前の歓迎式では吹奏楽部の演奏で盛り上がり、午後は華道部と共に生け花体験をしたり、美術コース生と向き合いながらお互いの顔をデッサンしあうなど笑顔の絶えない充実した高校生交流を行いました。一九日には、JICE主催マレーシア学生との交流事業に本校アクティブカレッジクラス一年生三五名が参加しました。ポータルミュージアムはつちで行われた同交流会では、はつち内の見学や八戸小唄の歌や踊りを通じて八戸の魅力を再認識し、また班毎の交流では日本の大使役として日本文化についてマレーシアの学生に伝えることができました。二五日〜二九日にかけて二学年修学旅行がありました。コースは広島・京都・大阪・奈良を巡り、平和に



ついで考え、日本文化・歴史を堪能してきました。(十二月) 一三日から一五日の三日間、美術コース第三〇回作品展がポータルミュージアムはつちにて開催されました。美術コース生一〇五名の作品の他、賛助出品として卒業生の作品二二点を展示し、作品数は二〇五点となりました。来場者が千人以上いました。二〇日、陸前高田市の仮設住宅に訪問し、年賀状にも使えるスタンプの寄贈をしました。二一日、二三日、マリエント「ちぎゅう」たんけんクラブ・シニアの企画として「海洋・地球科学研修」が実施され本校一、二年生徒二二名が参加しました。JAMSTEC横須賀本部や横浜研究所を訪問し、海洋・地球科学分野における世界最先端の技術や成果に触れました。(一月) 二一日、二二日に情報ビジネスコース一、二年生が八幡平リゾートにてスキー教室を行いました。(二月) 五日、JICE主催フィリピン高校・大学生との交流事業のため、フィリピンの学生と教員が来校しました。学校では歓迎行事が行われ、その後、各家庭で二泊三日のホームステイが実施されました。

美術コース 生徒の受賞作品紹介

第36回青森県高等学校総合文化祭美術部門



「優良賞」2年 山端綾乃さんの作品『蒼い心』



「優良賞」2年 坂京美さんの作品『午後』

第68回青森県高等学校総合体育大会ポスター  
「最優秀賞」2年 佐々木由依さんの作品



第17回仙台支部同窓会



H27. 6. 13 千の庭にて

第38回関東支部同窓会



H27. 6. 27 お茶の水ホテルジュラクにて

各同窓会パーティーに  
皆様ご参加ください!

先生方や同窓生と一緒に  
楽しい一時を過ごしませんか?

第40回同窓会納涼パーティー



H27. 8. 8 八戸パークホテルにて